

令和4年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
重点プロジェクト 元気・健康づくりプロジェクト				
主管課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	本橋 直人	
		評価日	令和5年6月1日	
関連課	市民課、市民総合窓口課、協働推進課、学校教育課、社会教育課（公民館）			
目標	文化芸術を通して多様な市民の交流を図るとともに、ふじみ野市の文化的な魅力を発信することで地域の活性化につなげます。また、市民と文化芸術とをつなぐ人材や団体の育成を図ります。			
施策目標の実現に向けた取組	<p>(1) 文化的な魅力の発見・発信 ○市内のアートスポットやアーティスト、ユニークな取組など、市の文化的な魅力を市民参加により発見・発信し、地域の活性化につなげます。</p> <p>(2) 文化の担い手の育成 ○次世代の文化創造を担う子どもたちの豊かな心や創造性を育むため、子どもの頃から文化芸術に触れる機会を充実します。 ○市民と文化芸術をつなぐコーディネーター、ボランティアなどの育成を進めます。</p> <p>(3) 文化芸術に出会う機会の提供と交流促進 ○文化芸術を通して、子育て世代、高齢者、障がい者、外国籍市民など多様な市民の交流を促進します。 ○多くの市民がいきいきと文化芸術活動に取り組める環境づくりを進めます。</p> <p>(4) 文化施設の維持管理・整備 ○市民がステラ・イースト及び産業文化センターなどを快適に利用できるよう維持管理を行います。 ○文化施設整備基本構想・基本計画及び管理運営計画に基づき、施設の整備を進めるとともに維持管理・運営の準備を進めます。</p>			

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策目標	指標1	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設・団体数					
		説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数により交流の促進度を計る。令和4年度のアートフェスタふじみ野では会場や企画の規模を拡大したことにより増加した。					
		単位	施設・団体数					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	4	5	6	9	12	15
		実績値	5	16	15	21	37	
	指標2	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数					
		説明	学校等と芸術家を結び、企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターを育成することにより文化芸術に触れる機会の拡充を図る。令和4年度はコロナ禍の影響により依頼がなく実施しなかった。					
		単位	人					
	成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	3	5	8	8	8	8
		実績値	0	2	2	3	0	
	指標3	指標名	文化芸術事業への参加者数					
		説明	市民が身近な環境で参加できる文化芸術の必要性を文化事業への参加者数で計る。令和4年度は文化芸術企画提案型委託事業などの事業数を増やしたことやアートフェスタの規模を拡充したことにより増加した。					
		単位	人					
	活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		目標値	4,860	5,090	5,340	5,600	5,880	6,170
		実績値	7,100	6,090	0	4,316	6,262	
	指標4	指標名	ふじみ野ステラ・イースト多目的棟整備事業の進捗率					
		説明	ふじみ野ステラ・イースト多目的棟の整備事業の進捗率を指標とする。令和3年2月19日に工事が完了し、令和3年4月1日にリニューアルオープンした。					
単位		%						
成果	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	10	40	100				
	実績値	10	40	100				
指標5	指標名	ふじみ野ステラ・ウェスト整備事業の進捗率						
	説明	ふじみ野ステラ・ウェストの整備事業の進捗率を指標とする。令和4年度は9月にホールまわりの鉄骨が立ち上がり、令和5年3月には4階配筋工事に着手した。						
	単位	進捗率(%)						
活動	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	目標値	0.00	0.00	1.00	15.00	75.00	100.00	
	実績値	0.00	0.00	0.70	12.00	69.00		

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支出	事務事業費	16,395	85,593	1,080,483	572,987	1,216,656	6,598,404
	人件費	22,461	23,572	29,367	38,294	40,420	38,521
収入	特定財源	579	21,241	1,025,158	484,222	1,105,987	6,372,280
	一般財源	38,277	87,924	84,692	127,059	151,089	264,645

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は前期重点プロジェクトに該当する取組です。

		実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	文化芸術による交流促進事業	文化芸術企画提案型委託事業や文化芸術未来応援事業、アートフェスタふじみ野など積極的に多様な事業を展開し市民に文化芸術に触れる機会を創出した。	文化芸術企画提案型委託事業17件、文化芸術未来応援事業11件、アートフェスタふじみ野(38企画)など全36件の多種多様な事業を実施したことで、文化芸術を通して世代や地域を超えた交流を促進した。	文化振興事業
取組②	アウトリーチ事業	市内小学校1校から派遣要請があり音楽家2名を派遣した。フルートの仕組みや歴史をレクチャーするとともに、生演奏を披露した。(福岡小学校4年生音楽授業)	地域で活動する音楽家を知るとともに、楽器の音色や本格的な生演奏に触れることで次世代の文化芸術を担う子どもたちに、音楽の楽しさや魅力を感じてもらった。	文化振興事業
取組③	文化の魅力発見・発信	アート発見・発信プロジェクトとして市民との協働により「ART88vol.8」を発行した。また、本庁舎のギャラリー及び大井総合支所の展示スペースを貸出し、市民の文化活動の場を提供した。	市内でまだ知られていないアートプレイスやアーティストを市民目線で継続的に掘り起こし発信するとともに、作成した冊子を様々な機会や場所で配付することで市内で活動するアーティストや市の魅力を幅広く発信した。	文化振興事業
取組④	文化芸術活動未来応援事業	市内の若手芸術家やアーティスト等の自主的・創造的な文化芸術活動を支援し、乳幼児からシニア、障がいのある人まで、全ての世代を対象とする文化芸術事業を実施した。	コンサートやワークショップなど8事業を採択し団体等の活動を支援した。また、親子を対象とした児童センターでのコンサートや、大人のための読み聞かせなど内容に工夫を凝らし、子どもから大人まで幅広い世代に文化芸術に触れる機会を提供した。	文化振興事業
取組⑤	文化施設の整備	ふじみ野ステラ・ウエストの整備 令和4年4月より1階の基礎配筋工事に着手し、9月にはホールまわりの鉄骨が立ち上がり、令和5年3月には4階配筋工事に着手した。 令和5年11月のオープンを目指して整備を進める。	令和3年4月にふじみ野ステラ・イースト多目的棟がリニューアルオープンし、市民の文化芸術活動等の拠点としての役割を担っている。また、ふじみ野ステラ・ウエスト及びふじみ野ステラ・イーストホール棟を建替えることにより、文化と人の交流拠点を実現する。	文化施設整備事業

5. 評価

評価	
指標の達成状況	「アートフェスタふじみ野2022」では、これまでより会場数を増やしふじみ野ステラ・イースト多目的棟、ホール棟、イオンタウンヒマラヤスギ公園横特設会場など4会場で2日間にわたって開催した。企画数が38件、来場者数は約3,300人となり多くのアーティストに活動の場を提供するとともに、多くの市民に多様な文化芸術に触れる機会を提供した。
おおむね順調	
行政資源の活用	また、令和3年4月リニューアルオープンしたふじみ野ステラ・イーストを拠点に文化芸術事業を展開するため、ステラ・イーストホール活用事業、アート系ワークショップなど質の高い事業、文化芸術事業を担う人材やボランティアスタッフの育成、地域に根ざした文化芸術活動により、地域における文化活動の活性化につなげることができた。
適切	
取組の有効性	文化施設の整備では、ふじみ野ステラ・ウエストは令和4年9月にホールまわりの鉄骨が立ち上がり、令和5年3月には4階配筋工事に着手しており、令和5年11月4日のオープンを目指し順調に進捗している。ふじみ野ステラ・イーストホール棟は令和4年度に基本設計が完了し、令和5年9月より解体工事に着手する予定で、令和7年10月のオープンを目指して整備を進めていく。引き続き市民が集い、賑わいのある文化と人の交流拠点となる施設の整備を進めることで、未来につながる文化を創造するまちを目指す。
有効	
施策の効果	
大きな効果が得られている	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	文化振興事業		前年度の方向性	拡充
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うらおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成17年度～	評価日	令和5年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	文化芸術振興基本法、文化・スポーツ振興条例、絵画等展示要綱、後援等承認手続きに関する要綱、文化振興計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	全ての市民を対象に、身近な環境のなかで文化・芸術等に触れる機会を提供するとともに文化活動の環境整備を図り、市民の自主的・創造的な文化活動を推進し活力ある地域社会の実現をめざす。また、新文化施設事業推進のため「文化施設整備基本構想・基本計画」及び「文化施設管理運営計画」を策定するとともに、「第2期文化振興計画」を策定し、これらの計画の理念を実現していく。		
	事務事業の経緯	平成26年度より文化振興事業の主管課を協働推進課から文化・スポーツ振興課に移管し、平成27年10月1日「ふじみ野市文化・スポーツ振興条例」を制定した。また、平成28年度に「ふじみ野市文化振興計画」を策定し、文化振興審議会へ施策の具現化に向けた諮問を行いながら、文化振興施策を総合的に展開している。		
	事務事業の概要	①平成28年度に策定した文化振興計画に基づき、文化振興事業に取り組む。 ②平成29年度文化振興審議会の答申「文化芸術振興の財源確保の在り方及びその効果的な活用」を受け具体的な制度を構築するため、平成30年度も文化振興審議会へ「文化振興に係る助成制度のあり方について」を諮問し、4回にわたる審議を経て「文化芸術振興未来応援事業」として答申を受け、令和元年度から文化芸術振興の新たな助成制度を構築した。 ③市民の文化活動支援の一環として市民に公共施設展示スペースを貸出し、発表の場を提供する。		
	令和4年度の主な取組	令和4年度は新たな文化芸術企画提案型委託事業「ホール活用事業4回、アート系ワークショップ事業6回、まちかど・ロビーコンサート事業7回」や、ステラ・イースト魅力発信事業「アート系ワークショップ事業4回」、文化芸術活動未来応援事業「令和3年度延期事業2回、令和4年度事業9回」、小学校へのアウトリーチ事業「福岡小学校1回」、KDDI総合研究所共催による「中高生対象未来創造ラボ等3回」などを実施した。また、市民編集員によるアート発見・発信編集発行事業ではVol. 8号の発行や市民ギャラリーの活用促進が図られた。さらに、アートフェスタは新たに2会場を追加し全3会場（産業文化センター、ステラ・イーストのホール棟・多目的棟、イオンタウンヒマラヤ杉公園園横特設会場）にて開催した。実施に当たっては新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた。		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.40	0.50
		人件費	3,180	3,983
	再任用職員	従事人数(人)	0.80	0.80
		人件費	4,048	4,217
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.80	0.49
	人件費	1,003	1,015	
	人件費計	8,231	9,215	8,022
事業費	報酬※	952	1,052	2,153
	賃金※	0	0	0
	需用費	512	364	499
	委託料	5,141	5,674	1,206
	使用料及び賃借料	417	793	656
	工事請負費	0	0	0
	負担金、補助及び交付金	878	2,162	2,607
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	385	496	1,691	
	支出合計	15,513	18,741	16,834
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	0	0
		基金	1,164	3,276
		その他	867	0
一般財源	13,482	15,465	16,107	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		118	136	139

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	文化芸術を通して多様な人が出会う交流促進事業への参加施設・団体数		
	説明	文化芸術を通して多様な人が出会う交流事業に企画段階から参加する団体数の数により交流の促進度を図る。交流促進事業に参加、協力等を行う企業・団体等の数を指標としている。令和4度はアートフェスタ参加団体数。(出演団体37団体) ※将来構想施策指標		
活動	単位	団体		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	9	12	15
	実績値	21	37	
指標 2	指標名	文化芸術事業への参加者数		
	説明	市民が参加した文化芸術事業の参加者数。(前年度比5%増を目標値とする) ※将来構想施策指標		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	5,600	5,880	6,170
	実績値	3,202	6,262	
指標 3	指標名	市民と文化芸術をつなぐコーディネーター育成数		
	説明	学校等と芸術家を結び、事業の企画・運営・実施等を芸術家とともに支援するコーディネーターの育成数を指標とした。※平成30年度に新規で設定した指標。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり派遣先が増えなかったため、実施しなかった。今後は派遣先の状況を踏まえながら実施していく。 ※将来構想施策指標		
成果	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	8	8	8
	実績値	3	0	

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の実施内容・効果	<p>積極的に多様な事業を展開し市民に文化芸術に触れる機会を創出できた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて実施した。</p> <p>(1) アートフェスタふじみ野2022(実行委員会への補助事業として実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な実施団体：ふじみ野市音楽家協会、包括連携協定大学等(文京学院大)、大井中学校、大井東中学校、福岡中学校、花の木中学校、KDDI総合研究所他 ・実施日時等：産業文化センター(12月17日(土))、ステラ・イースト及びイオンタウンヒマラヤ杉公園横特設会場(12月18日(日))、企画数38件、来場者数3,300人 <p>(2) 文化芸術企画提案型委託事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール活用事業 4回 来場者数1,178人 ・アート系ワークショップ 6回 参加者135人 ・まちかど・ロビーコンサート 7回 来場者数 342人 <p>(3) ステラ・イースト魅力発信事業 4回 来場者数 78人</p> <p>(4) KDDI総合研究所共催リビングラボ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来創造ラボ等参加者 3回 13人 <p>(5) 文化芸術未来応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度延期事業 2件 322人 ・令和4年度新規事業 9件 893人 <p>(6) 文化芸術チャレンジ事業 申請者6名</p> <p>(7) アウトリーチ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施校 福岡小学校4年生2クラス 派遣アーティスト2名(フルート・ピアノ) ・その他 ふれあい広場オープニング演奏 派遣アーティスト2名(フルート・電子ピアノ) <p>(8) アート発見発信プロジェクト(Vol.8)</p> <p>市内で活躍するアーティストなどを市民編集員が取材し冊子に取りまとめた。</p>
--------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	令和5年度からスタートする第2期ふじみ野市文化振興計画の各種施策について着実な事業実施を行い、将来像である「様々な市民等が協働し、文化芸術を育み、支え、未来につなげるまち ふじみ野」の実現に向けた取組みを進める。特に新たに設立が予定されている(仮称)ふじみ野市文化協会や、ステラ・イースト及びウエストを管理運営する指定管理者と連携し本市の特徴を活かした幅広い事業展開を構築し進めていく。また、市の魅力の発信・活用として、アート発見発信プロジェクト、市民ギャラリー活用事業など、様々な文化芸術事業を通し文化の次世代への継承と市民文化の醸成を推進し、市民の心の豊かさ、元氣健康づくりにつなげる。なお、事業の実施に当たっては新型コロナウイルス感染症防止対策を講じる。
中長期的方向性	
拡充	

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名	文化施設整備事業		前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト	元気・健康づくりプロジェクト			
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
予算費目	一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費			
所管部課	市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世	
事務事業期間	平成30年度～	評価日	令和5年6月1日	
個別計画 根拠法令・条例等	文化芸術基本法、文化・スポーツ振興条例、文化振興計画、ふじみ野市文化施設等の整備に係る方針、ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画、ふじみ野市文化施設管理運営計画			
事務事業の内容	事務事業の目的	同規模のホールを有する複数の公民館等の文化施設が耐震性の不足、躯体の老朽化、ホールの特定天井など市民の文化活動施設として早急に整備することが求められており、複合化、改築、大規模改修等の整備方針及び整備手法を「ふじみ野市文化施設基本構想・基本計画」としてまとめ、整備事業を推進するものである。		
	事務事業の経緯	政策分野において、平成22年9月「公共施設適正配置計画」策定後、平成28年度「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」、平成29年度「文化施設等の整備に係る方針」、「公共施設適正配置計画の検証結果及び施設整備・維持管理の今後の方針」などを策定し、それらの方針を受け、令和元年6月に「文化施設基本構想・基本計画」、令和2年3月に「文化施設管理運営計画」を策定した。		
	事務事業の概要	平成28年度に実施した「公共施設適正配置計画一部見直し業務報告書」及び平成29年度「文化施設等の整備に係る方針」に基づき、平成30年度に整備内容の検討を行い、最終的に大井中央公民館（大井図書館含む）、勤労福祉センターについては建て替え、上福岡公民館・コミュニティセンターは大規模改修を行う。 また、整備した文化施設の管理運営の指針となる「文化施設管理運営計画」を令和2年3月に策定したことから、計画に基づき文化施設の維持管理及び運営の準備を進める。		
	令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ステラ・イースト多目的棟のリニューアルオープン（令和3年4月1日～） 令和3年2月に旧上福岡公民館・コミュニティセンターの大規模改修工事が完了し、DIYルームや音楽スタジオなど新たな機能を備えたステラ・イーストがリニューアルオープンした。 ・ステラ・ウェストの整備（令和2年6月～令和5年9月） 令和4年4月より1階の基礎配筋工事に着手し、9月にはホールまわりの鉄骨が立ち上がり、令和5年3月には4階配筋工事に着手した。 ・文化施設設置条例の一部を改正する条例の議会上程 令和5年3月議会に条例の一部を改正する案を上程し、休館日等の改正を行った。 		

2. 事務事業費・人件費

（単位：千円）

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算
人件費	正規職員	従事人数(人)	0.80	1.20
		人件費	6,359	9,558
	再任用職員	従事人数(人)	0.70	0.70
		人件費	3,542	3,690
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00
	人件費	0	0	
	人件費計	9,901	13,248	13,080
事業費	報酬※	0	0	0
	賃金※	0	0	0
	需用費	119	13	2,000
	委託料	16,137	25,602	83,792
	使用料及び賃借料	0	0	1,116
	工事請負費	473,415	1,077,010	6,291,264
	負担金、補助及び交付金	0	0	0
	扶助費	0	0	0
その他事業費※	933	13	15,102	
	支出合計	500,505	1,115,886	6,406,354
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0
		県支出金	0	0
		使用料・手数料	0	0
		分担金・負担金	0	0
		地方債	405,500	537,000
		基金	71,050	552,632
		その他	0	0
一般財源	23,955	26,254	43,833	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		209	230	379

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ステラ・ウェスト整備事業の進捗率		
	説明	ステラ・ウェスト整備事業の進捗率を指標とする。(事業費の割合から進捗率を算出)		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	33.30	83.30	100.00
	実績値	12.00	69.00	
指標 2	指標名	ステラ・イーストホール棟整備事業の進捗率		
	説明	ステラ・イーストホール棟整備事業の進捗率を指標とする。(事業費の割合から進捗率を算出)		
成果	単位	%		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	1	2	19
	実績値	1	2	
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>(1)ステラ・イースト多目的棟大規模改修工事</p> <p>①改修期間 令和2年4月1日～令和3年2月19日</p> <p>②新たな機能及び安全対策等 DIYルームやキッズルーム、音楽スタジオ、ダンススタジオなど新たな機能を設けた。歩行者と車両の動線を分け、新型コロナウイルス感染症対策として網戸を設置した。また、停電時にも電気が利用できる部屋や断水時には受水槽から直接水を利用できるなど災害拠点としての機能も強化した。</p> <p>(2)ステラ・ウェストの整備</p> <p>①基本設計 5月～12月にかけて、整備に向けた協議を行い、令和3年1月に基本設計が完了した。</p> <p>②拡張用地の取得 令和元年9月に売買予約契約を締結した拡張用地について、令和2年11月に売買契約を締結した。</p> <p>③中央公民館の解体工事 令和3年3月に旧大井中央公民館の解体に着手し、同年11月に解体工事が完了した。</p> <p>④実施設計 基本設計完了後に実施設計を行い、令和4年3月に実施設計が完了した。</p> <p>⑤新築工事 令和3年11月から着手し令和4年9月にはホールまわりの鉄骨が立ち上がり、令和5年3月には4階配筋工事に着手した。令和5年11月初旬のオープンを目指す。</p> <p>(3)ふじみ野市立文化施設条例の一部を改正する条例を令和4年3月議会、令和5年3月議会に上程</p> <p>①ステラ・ウェスト(ふじみ野市大井中央二丁目1番4号、8号)の追加及び使用料の設定等</p> <p>②ステラ・ウェスト休館日及び施行日の変更</p> <p>(4)令和4年9月議会に補正予算及び変更契約議案の上程</p> <p>①仕様の変更及び物価スライド(607,695千円の増額)</p>
------------------	---

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	令和元年度に策定した文化施設基本構想・基本計画に基づき、市民の生涯学習活動、市民活動、文化芸術活動、コミュニティ活動の拠点施設とするため、令和2年度に旧上福岡公民館・コミュニティセンターの大規模改修工事を行い、ステラ・イーストとして令和3年4月にリニューアルオープンした。また、ステラ・ウェストについては、令和5年4月から内装工事に着手し9月の完成に向けて整備を進めており、利用者の安全性や利便性を考慮し設備やサイン計画等の検討を進めるとともに、11月のオープンに向けて10月中の引っ越し作業がスムーズに行えるよう各事業者との調整を行う。
中長期的方向性	
拡充	さらに、ステラ・イーストのホール棟については令和4年度に基本設計が完了したことから令和5年度は実施設計を行うとともに9月から仮囲いをし順次解体工事に着手する。

令和4年度事務事業評価シート

1. 事務事業の概要

事務事業名		文化施設管理運営事業	前年度の方向性 拡充	
重点プロジェクト				
施策体系	分野	02 生きがい・文化・スポーツ ～うるおいのある豊かなまち～		
	施策	06 文化 ー魅力の発信と人々の交流を通し、未来につながる文化を創造するまちを目指しますー		
予算費目 一般会計 02総務費 01総務管理費 13文化・スポーツ振興費				
所管部課		市民活動推進部 文化・スポーツ振興課	評価責任者	吉村 敏世
事務事業期間		令和2年度～	評価日	令和5年6月1日
個別計画 根拠法令・条例等 文化芸術基本法、文化・スポーツ振興条例、文化振興計画、ふじみ野市立文化施設条例、ふじみ野市文化施設管理運営計画				
事務事業の内容	事務事業の目的	文化芸術、生きがい学習、生涯学習の拠点として、市内全域からたくさんの方が集まり、「行ってみたい楽しかった」「また行きたい」と感じられる「ふじみ野の文化と人の交流の拠点」として施設の運営維持管理を行う。		
	事務事業の経緯	平成30年度から産業文化センターの管理が産業振興課から文化・スポーツ振興課に移管された。また、令和3年2月19日にふじみ野ステラ・イースト多目的棟の大規模改修工事が完了し、令和3年4月から文化・スポーツ振興課で施設の管理を行う。		
	事務事業の概要	産業文化センターは平成21年度に指定管理者制度を導入し施設の運営管理を行っている。毎月1回モニタリングを行い施設管理及び事業実施状況の点検等を行っている。令和3年度からは、大規模改修工事でリニューアルしたステラ・イーストの維持管理を行う。また、ステラ・イースト及びウェストは令和5年度の指定管理導入に向け準備を行う。		
	令和4年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・産業文化センター 毎月1回行っているモニタリングを通して、施設の維持管理及び事業実施の状況の確認を行った。また、照明のLED化を図るとともに、ホール・ギャラリー等の壁紙を張替し施設環境の改善を図った。さらに、令和4年度は空調機更新工事の設計が完了し、令和5年度には工事に着手する。運営においては新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて実施した。 ・ステラ・イースト 毎月1回実施しているモニタリングを通して、施設の維持管理の状況確認を行った。また、ウェストも含め指定管理導入に向け指定管理者の選定及び指定管理者への引継ぎを行った。 		

2. 事務事業費・人件費

(単位：千円)

【支出】		令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 当初予算	
人件費	正規職員	従事人数(人)	1.90	0.60	0.60
		人件費	15,102	4,779	4,769
	再任用職員	従事人数(人)	1.00	2.50	2.50
		人件費	5,060	13,178	12,650
	会計年度任用職員※	従事人数(人)	0.00	0.00	0.00
人件費計		20,162	17,957	17,419	
事業費	報酬※	0	0	0	
	賃金※	0	0	0	
	需用費	7,748	29,059	5,536	
	委託料	62,238	74,641	190,135	
	使用料及び賃借料	123	146	0	
	工事請負費	0	0	0	
	負担金、補助及び交付金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	
その他事業費※	4,992	647	647		
支出合計		95,263	122,450	213,737	
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0
		県支出金	0	0	0
		使用料・手数料	5,528	0	152
		分担金・負担金	0	0	0
		地方債	0	1,400	0
		基金	0	11,679	8,880
		その他	113	0	0
一般財源		89,622	109,371	204,705	
市民1人あたりの負担コスト(単位：円)		784	958	1,771	

※報酬、賃金、その他事業費には、会計年度任用職員の人件費も含まれています。

※千円未満を四捨五入しているため、合計が合わない箇所があります。

3. 事務事業の指標と実績

指標 1	指標名	ステラ・イースト多目的棟施設利用者数		
	説明	改修前の上福岡公民館・コミュニティセンターの利用者数（51,913人）から毎年1%増加の増加を目指していく。 ※地域再生計画目標値（目標最終年：令和6年度）		
活動	単位	人		
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	52,413	52,913	53,413
	実績値	43,546	51,376	
指標 2	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			
指標 3	指標名			
	説明			
	単位			
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値			
	実績値			

4. 事務事業の実施内容・効果

事務事業の 実施内容・効果	<p>○産業文化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止対策 感染症対策を徹底して自主事業及び貸館等を実施し、市民文化の向上及び産業の振興に努めた。 ＜指定管理者において行った利用者の利便性向上対策＞ WI-FI環境の整備、電灯のLED化、多目的トイレ等の温水温便座交換工事、利用回数の多い利用者への利用料割引 施設の維持管理 【修繕箇所】照明設備修繕、壁紙張替修繕 <p>○ステラ・イースト</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止対策 新型コロナウイルス感染症の対策としてガイドラインの作成を行い、感染症対策を徹底して施設の貸出しを行った。 施設の維持管理 多目的棟については、「ふじみ野市文化施設整備事業」で選定されたSPCが施設の維持管理（日常清掃を除く）を行い、令和5年2月27日に実施した定期巡回点検では施設、設備に異常はなかった。 ホール棟は、多目的棟と一体的に管理することで効率的かつ安全に施設管理が行えることから、令和2年12月議会で債務負担行為を設定し、SPCの施設維持管理企業に施設の維持管理を委託している。 【修繕箇所】集会室トイレ漏水修繕、ホール排煙機バッテリー交換修繕、音響設備修繕 R4年度施設利用者数 多目的棟 51,376人、ホール 22,018人、集会室 7,263人 <p>○ステラ・イースト及びウエストの指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集（7月～8月）、ヒアリング審査（10月）、選定（11月）、応募団体全4団体
------------------	--

5. 今後の方向性

来年度の方向性	理由
拡充	平成30年度から産業文化センターの管理が、文化・スポーツ振興課に移管され、令和3年度からはステラ・イースト（旧上福岡公民館・コミュニティセンター、勤労福祉センター）を管理している。新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、通常通りの施設運営ができない中、検温や消毒を徹底するなど感染症拡大防止対策を図りながら、文化芸術、生きがい学習、生涯学習を行うための「ふじみ野の文化と人の交流拠点」として、文化や学びに触れる環境を提供する。
中長期的方向性	また、令和4年度は指定管理者への移行に向けて管理運営業務の引継ぎを行った。令和5年度はステラ・ウエストの開館に向けた準備や、イースト・ウエストの事業計画の確認を行うとともに事業実施の進捗管理や施設の管理状況をモニタリングしていく。
拡充	